

## 2024年11月碁酔会例会「陣馬の湯（神奈川）合宿の記

2024/12/吉日

碁酔会幹事(星谷 徹)、陣馬の湯の合宿幹事(上野昌宏、橋山高昭)

碁酔会恒例の今年(2024年)の囲碁合宿は、星谷幹事が比較的近隣で囲碁合宿のできる候補地として「陣馬の湯(陣溪園:神奈川県相模原市緑区吉野)」はどうかと提案され、全員が賛成ということで、開催が決定しておりました。この度11月27日～28日に、天気予報では雨模様の予報が続いていましたが、幸いなことに2日間とも好天に恵まれ、メンバー10名が参加し、無事挙行できましたので、その概略をご報告いたします。

この陣溪園の所在地は、陣馬山(標高 854.8m、神奈川県相模原市と東京都八王子市の境界の山。関東の富士見百景、多摩百山、かながわの景勝 50 選などに選定され、日帰りハイキングのできる山として人気)の南山麓に位置し、枋谷川溪流に沿った登山ルート途上にあります。特産品の「ゆず」の郷をうたい文句として、料理は川魚料理、馬肉、ゆず料理などです。また風呂は、陣馬山の横を流れる陣馬の湯鉱泉(ただし、鉱泉の沸かし湯とのこと)を使用した自慢の岩風呂です。24 時間温め続けた大岩石により温度が維持されていることもあり、体の保温に優れるとのことでした。

### 第1日目、11月27日(水)

JR中央本線藤野駅(JR 中央線高尾駅から2 駅先)の改札出口に11時半に10名全員が集まりました。駅前の「鮭ひろ」にて昼食となり、握りずし又はちらし寿司を注文したところ、メンバーの多くの方からマグロのトロが非常に美味しかったと好評で、若干ひなびた感じのする駅前で旨いものにでくわした喜びがありました。店は貸し切り状態でしたので、その場で旅館の部屋割りを決め、次いで対戦相手を決めるために、メンバー各人に対戦番号を引いてもらい、対戦方式の概略説明を行った。即ち、対局はハンデ戦として碁酔会の前月の持ち点数を固定して行う方式で対局回数は、時間的な制約もあり、3回戦とした。対局相手については、まず第1局目は番号の若い順に対戦し、2回戦は、まず勝者のうち番号の若い順に対戦し、次いで敗者についても同様に若い順に対戦する。3回戦も同様に勝ち数の多い順に同様対戦とした。表彰式は、全勝賞、2勝賞、参加賞として表彰することと致しました。

陣溪園に到着し次第、囲碁室に入り込み、午後1時から対戦開始となり、雑談の声が急に無くなり、石音と溪流のせせらぎが僅かに聞こえてくる中、辺りが薄暗くなった午後5時前後、2回戦が終了し、手すきの方から岩風呂に入り、6時から夕食となりました。対局開始時から持ち込みのアルコールやつまみを腹に入れているはずなのに、鮎の塩焼きや馬刺しを眼の前にするとアルコールがすすみました。食後は自由時間ということで自由対局や麻雀で盛り上がりました。

## 第2日目、11月28日(木)

前日の疲れが出て体調を崩されることも懸念されましたが、全員元気で 8 時からの朝食を待ちきれなく食事開始。午前 9 時からの対局も早めに再開。11 時頃には順調に対局終了となり、表彰式に移りました。

表彰者は、全勝賞;田柳勝男、橋山高昭 2 勝賞;池田昭、澤田邦昌、上野昌宏の各氏でした。

出発までの自由時間に、ゆず運搬用モノレールが希望により乗車できる(往復 500 円/人)とのことで、宿のご主人の案内で標高差 200m の眺望がすばらしく、白雪の富士山を撮影したメンバーもおられました。

昼食は、ネット上でも高い評判の蕎麦処「喜庵」にて十割そば(コシの強さに驚く)と天ぷら盛り合わせに満足し、駅まで約 20 分のウォーキングを楽しむ方、タクシーに乗る方それぞれが昨日乗降した藤野駅に到着し、同じ電車に乗車後、解散となりました。

なお、文末ではありますが、当合宿を企画された星谷幹事と記念写真を撮影して頂いた田柳勝男氏に深甚の意をメンバー各位とともに表したいと考えます。(橋山高昭)

〈参加者：敬称略、順不同〉10 名

池田昭、宇良芳雄、加藤三郎、沢田邦昌、田柳勝男、三木信次郎、  
水澤雄二、星谷徹、上野昌宏、橋山高昭

